NTT docomo

N-06C

クイックスタートガイド　’11.6

MEDIAS WP

N-06C をお買い上げのお客様へ

N-06C クイックスタートガイドにて、以下の記載に誤りがございましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。

該当箇所：P5「N-06C のご利用にあたっての注意事項」

誤：● sp モード、mopera U およびビジネス mopera インターネット（VPN 設定は PPTP のみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。

正：● sp モード、mopera U およびビジネス mopera インターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。

該当箇所：P43「主な通知アイコン」

誤：

アイコン	説明
／	VPN接続中／切断

正：

アイコン	説明
／	VPN（PPTP）接続中／切断
	VPN（IPSec／L2TP）接続中

'11.8（1 版）
MDT-000161-JJA3

はじめに

「N-06C」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- N-06CはW-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（連絡先など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- FOMA端末の本来の製品情報を改ざん／削除などを行った場合、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったりする場合がございます。当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

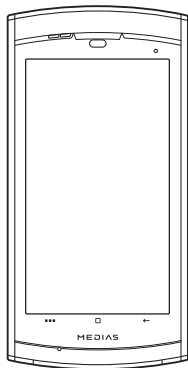
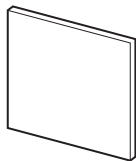
SIMロック解除

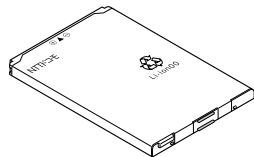
本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

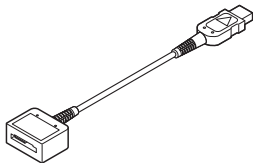
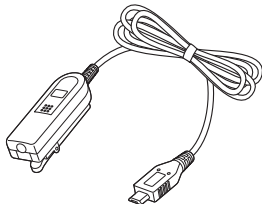
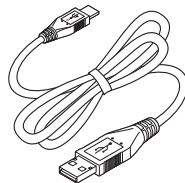
本体付属品および主なオプション品

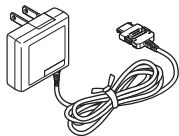
■本体付属品

N-06C
（保証書、リアカバー N54含む）

N-06Cクイックスタートガイド
（本書）

卓上ホルダ N34

電池パック N28

microSDHCカード（8GB）※
（取扱説明書付き）（試供品）

※お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

FOMA 充電microUSB
変換アダプタ N01

イヤホン変換アダプタ
（取扱説明書付き）（試供品）

PC接続用microUSBケーブル
（取扱説明書付き）（試供品）

■主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01／02（保証書、取扱説明書付き）

本書の見かた

本書の記載について

- 本書では操作手順を以下のように簡略して記載しています。

表記	意味
ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「通話設定」	ホーム画面で[•••]をタップする▶「本体設定」をタップする▶「通話設定」をタップする

- 本書の本文中においては、『N-06C』を『FOMA端末』と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカードをご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書は、主にお買い上げ時の設定をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定の変更によってFOMA端末の表示・操作が本書での記載と異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

FOMA端末で操作方法を確認する

アプリケーション一覧画面で「取扱説明書」を選択すると、本FOMA端末の取扱説明書アプリケーションで操作方法などを閲覧できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

取扱説明書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

目次

N-06Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.83
- FOMA端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後は、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードやFOMA端末の容量がいっぱいに近い状態のとき、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え、画面ロックのパスワードを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。→P.62
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、その他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- FOMAカード（青色）をお使いの場合、海外で本FOMA端末を利用することはできません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスや、Twitter、mixiなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットΩ（VPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- Wi-Fiアクセスポイントのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- Wi-Fiアクセスポイントの初期設定では、セキュリティは設定されておりません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用の料金プランにより、Wi-Fiアクセスポイントご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- パケット定額サービスをご利用の場合、Wi-Fiアクセスポイントをご利用中のパケット通信は、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信（ブラウザやメールなどを含む）が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。Wi-Fi対応機器での通信が終了次第、必ずWi-Fiアクセスポイントを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）、卓上ホルダ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能については下記を参照してください。
→P.21「防水性能」

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電変換アダプタ含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片､鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を行っている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示
子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示
乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示
FOMA端末をアダプタ（充電変換アダプタ含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電変換アダプタ含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止
赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止
赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止
ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止
FOMA端末内のドコモUIMカード挿入口やmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止
自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示
航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示
スピーカーを「ON」にして通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調整してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には保護フィルム、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。この保護フィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。
保護フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.14「材質一覧」

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火､環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタ（充電変換アダプタ含む）、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電変換アダプタ含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電変換アダプタ含む）のコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタ（充電変換アダプタ含む）のコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂、すず蒸着／UVコーティング処理
	電池面	ナイロン樹脂／UVコーティング処理
ディスプレイパネル		強化ガラス、飛散防止フィルム／UVコーティング処理
カメラリング		アルミ／アルマイト処理
カメラパネル		アクリル、PC複合樹脂／UVコーティング処理
ライトおよび赤外線ポートパネル		PC樹脂／UVコーティング処理
ディスプレイ面パネル		アクリル、PC複合樹脂／UVコーティング処理
キー	電源キー	PC樹脂、すず蒸着／UVコーティング処理 （本体色<Premium Rose>） PC樹脂、アルミ蒸着／UVコーティング処理 （本体色<Champagne Gold>）
	ボリュームキー	PC樹脂／UVコーティング処理
サイドパーツ		アルミ／アルマイト処理
ボトムサイドパーツ		PC樹脂、すず蒸着／UVコーティング処理
リアカバー	表面	PC樹脂／UVコーティング処理
	止水部	シリコーンゴム／シリコーンコーティング処理
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂、ポリエステル系熱可塑性エラストマー／ UVコーティング処理
	止水部	シリコーンゴム／シリコーンコーティング処理
充電端子		ステンレス合金／金メッキ処理
		ABS樹脂
ネジ①		ステンレス合金
ネジ②	本体	ステンレス合金
	止水部	シリコーンゴム／シリコーンコーティング処理
ワンセグアンテナ	上段カバー	ABS樹脂／UVコーティング処理
	中段	ステンレス合金
	下段	ニッケルチタン合金
	根元ヒンジ部	ステンレス合金
	ワンセグアンテナ固定部	ステンレス合金
	ネジ	ステンレス合金

使用箇所		材質／表面処理
電池パック収納部	収納面	側面：ナイロン樹脂 底面：ポリエステルフィルム
	ドコモUIMカードトレー	POM樹脂
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP樹脂
	端子部	りん青銅／金メッキ処理
電池パック（端子）	電池パック本体	樹脂部：PC樹脂 ラベル：PET樹脂
	端子部	ガラスエポキシ樹脂／金メッキ処理

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **N-06Cは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）、卓上ホルダ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタ（充電変換アダプタ含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **バイブレータの振動でFOMA端末が火気（ストーブなど）に近づいたり、机から落ちたりしないよう注意してください。**
- **外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子（イヤホンマイク端子）キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **受話口／スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。**
  FOMA端末の故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は､適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

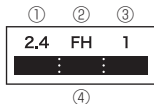
アダプタ（充電変換アダプタ含む）についてのお願い

- 充電は､適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth®機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、オブジェクトプッシュ、シリアルポート、フォンブックアクセスを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③ 1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▬▬　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

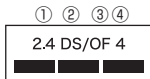
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LANについてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 周波数帯について
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①　②　③④

2.4 DS/OF 4

■■■

⑤

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. **この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。**
3. **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。**

FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊢」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能

N-06Cは、外部接続端子キャップを閉じ、リアカバーをしっかりと取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにN-06Cを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときは、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
  - リアカバーをしっかり取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま洗ってください。
  - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - 送話口や受話口／スピーカーに蛇口の水を直接当てないでください。
- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  - 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  - 風呂場での長時間のご使用はお避けください。

ご利用にあたって

- ご使用前に、外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水中でFOMA端末を使用（キー操作など）しないでください。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

<例>

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

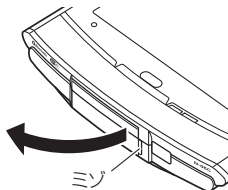
プール

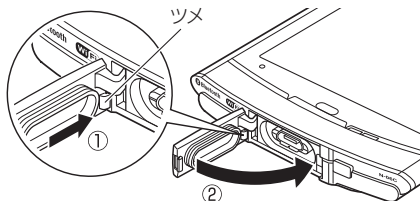
温泉

砂／泥

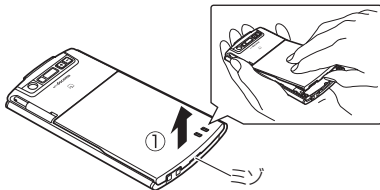
外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた

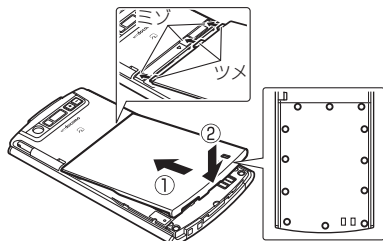
■開けかた

ミゾに指などをかけて矢印の方向に開けてください。

■閉じかた

図のように、キャップ裏面のツメを①の方向に差し込んだ状態で、②の方向にしっかりとキャップ全体を押し込んで取り付けます。

リアカバーの取り付けかた／取り外しかた

■取り外しかた

1 FOMA端末を手に持ち、ミゾに指などをかけて、無理な力を加えないよう①の方向に取り外す

■取り付けかた

❶ リアカバーのツメをFOMA端末のミゾに差し込み、①の方向に取り付け、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

○部分をしっかりと押し、FOMA端末とすきまがないことを確認してください。

おしらせ

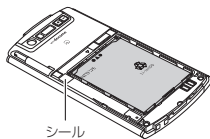
- リアカバーを取り外すときは、水抜きを行い、FOMA端末の水分をよく拭き取ってください。
- リアカバーを取り付けるときは、リアカバー周辺（特にゴムパッキン）にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- リアカバーを確実に取り付けないと浸水の恐れがあります。
- リアカバーを取り付ける際は、ドコモUIMカードやmicroSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。ドコモUIMカードやmicroSDカードの挿入が不十分だと、電池パックがドコモUIMカードやmicroSDカードにのり上げ、リアカバーを取り付けた際に、FOMA端末とリアカバーの間にすきまが生じて防水性能を損なう場合があります。

防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

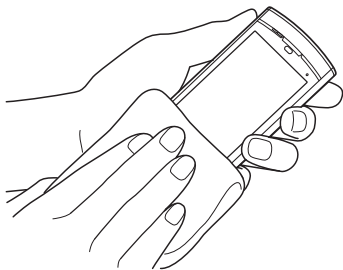
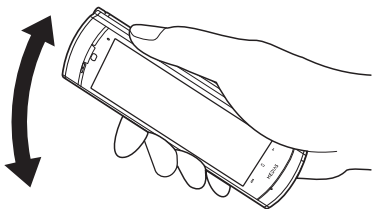
重要事項

- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  外部接続端子キャップ、リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形した場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- 外部接続端子キャップやリアカバーのすきまに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となることがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへはFOMA端末が常温になってから持ち込んでください。
- 規定（P.21）以上の強い水流（たとえば､蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。N-06CはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。

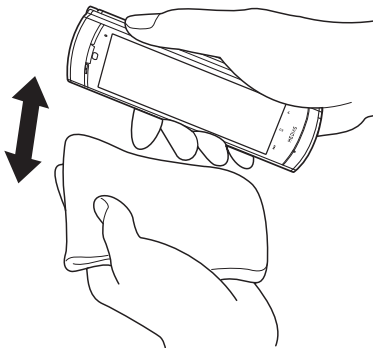
●付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。付属の卓上ホルダにFOMA端末を差し込んだ状態でワンセグ視聴などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。
●熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
●砂浜などの上に直接置かないでください。
・送話口や受話口／スピーカーの穴などに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
・水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
・外部接続端子キャップ、リアカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。
●送話口や受話口／スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
●濡れたまま放置しないでください。電源端子がショートする恐れがあります。
●FOMA端末は水に浮きません。
●落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
●送話口や受話口／スピーカーに水滴を残さないでください。水滴が付着していると通話音量や着信音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。このような場合は、水抜きを行うことで元に戻ります。
●実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様のお取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

●リアカバーをしっかりと取り付けていても、以下の箇所のシールをはがすと、防水性能を損なう恐れがありますので、シールをはがさないでください。

水に濡れたときの水抜きについて

FOMA端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。
●送話口や受話口／スピーカーに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

1 FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

② FOMA端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

＜送話口や受話口／スピーカーの水抜き＞

③ 送話口や受話口／スピーカーのすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取る

・すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

④ FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

●FOMA端末が濡れていないか確認してください。水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いてください。

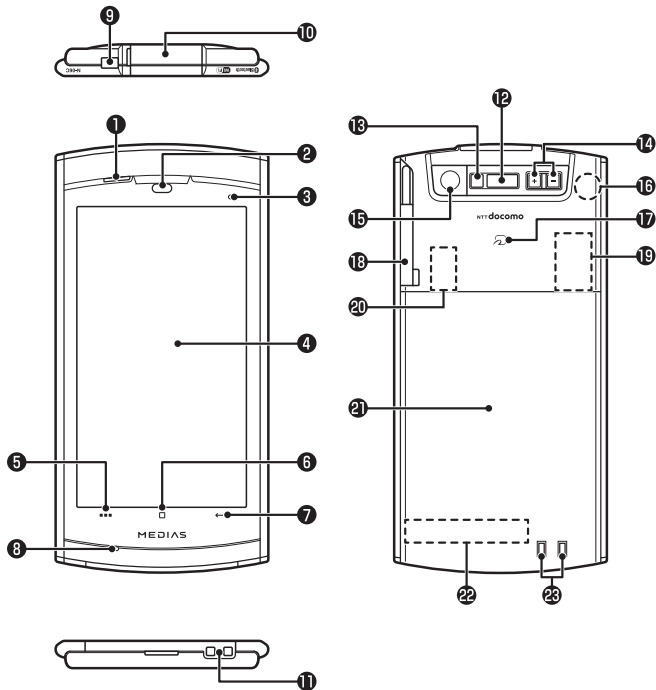
●外部接続端子キャップを開いて充電した場合、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

・FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。

・濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

・ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

❶受話口（レシーバー）／スピーカー

❷近接／照度センサー

・タッチパネルの誤作動を防ぐため、通話中に顔が近づいたのを検知すると、タップが有効なアイコンを消去します。
・周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動で調整することができます。→P.62

❸お知らせLED

❹ディスプレイ（タッチパネル）

・ディスプレイに表示された画面をなぞってスクロールしたり、選択したりできます。→P.35

❺[▪▪▪]メニューキー→P.36

❻[□]ホームキー→P.36

❼[←]バックキー→P.36

❽送話口／マイク

❾電源キー

・電源のON／OFFやスリープモードにします。

❿外部接続端子

・充電時やイヤホン接続時、パソコン接続時などに使用する統合端子です。

⓫ストラップ取付穴

⓬赤外線ポート

・赤外線通信に使用します。

⓭ライト

・カメラ撮影のときに、点灯させることができます。

⓮ボリュームキー

・音量を調整します。

⓯カメラ

・動画や静止画撮影のときに使用します。→P.71

⓰GPSアンテナ※

⓱マーク

・おサイフケータイ利用時に、このマークを読み取り機にかざします。

⓲ワンセグアンテナ

・ワンセグを受信します。→P.75

⓳ドコモUIMカードスロット

・ドコモUIMカードを挿入します。→P.28

⓴microSDカードスロット

・microSDカードを挿入します。→P.29

㉑リアカバー

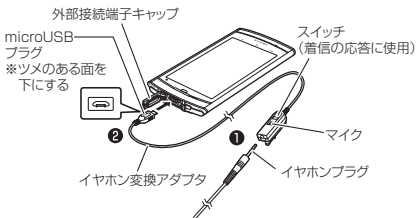
㉒FOMAアンテナ※

㉓充電端子

※アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

おしらせ

●各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

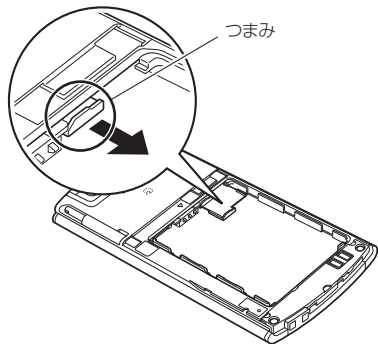
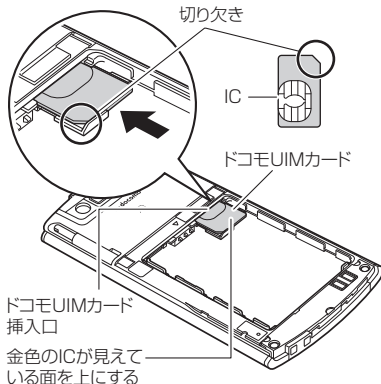
イヤホンを利用する

1 イヤホン変換アダプタ（試供品）のスイッチ側の端子にイヤホンプラグを差し込む

2 外部接続端子キャップを開け（P.22）、イヤホン変換アダプタのmicroUSB側端子を外部接続端子に接続する

ドコモUIMカードについて

ドコモUIMカードはお客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- FOMA端末にドコモUIMカードを取り付けないと、一部の機能は利用することができません。
- ドコモUIMカードについての詳細は、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください（P.31）。また、FOMA端末は両手でしっかり持ってください。

❶ トレーのつまみを引いてトレーを引き出す

❷ ドコモUIMカードのIC面を上にして、トレーにのせる

❸ トレーを奥まで差し込む

おしらせ

- 無理に取り付け／取り外しを行うと、ドコモUIMカードやトレーが破損する恐れがありますのでご注意ください。

microSDカードについて

FOMA端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末に取り込むことができます。

- N-06Cでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年5月現在）。
  microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
- ・http://www.n-keitai.com/
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

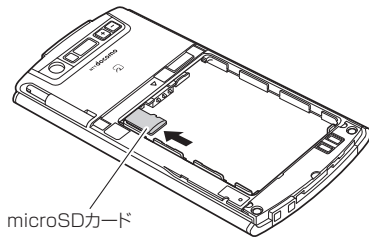
取り扱い上のご注意

フォーマットは必ずN-06Cで行ってください。他の端末やパソコンでフォーマットしたmicroSDカードは、使用できないことがあります。
→P.62

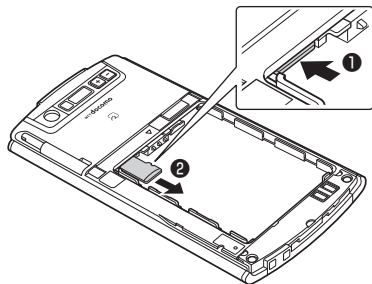
- microSDカードのフォーマットを行うと、microSDカード内の内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- microSDカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- microSDカードのデータにアクセス中は電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切り電池パックを外してから行ってください（P.31）。また、FOMA端末は両手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

1 microSDカードスロットにmicroSDカードを差し込み、ロックされるまで押し込む

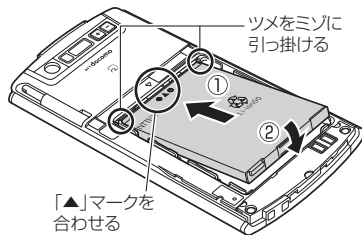
・microSDカードの金属端子面を下にしてゆっくりとまっすぐに差し込んでください。完全に奥まで押し込むとロックされます。

■取り外しかた

1 microSDカードを押し込んで手を放す
・microSDカードが少し出てきます。このとき、microSDカードが飛び出すこともありますのでご注意ください。

2 microSDカードの溝の部分を持ち、まっすぐにゆっくりと抜く

電池パックについて

●本FOMA端末専用の電池パック N28をご利用ください。
●電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、FOMA端末は両手でしっかり持ってください。
●リアカバーの取り付け／取り外しについて→P.22

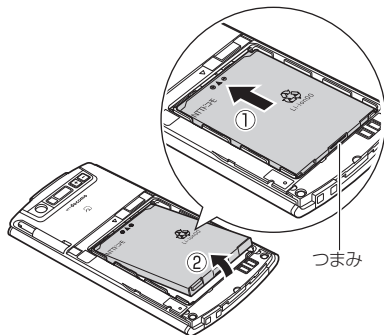
■取り付けかた

1 製品名の書かれている面を上にして、電池パックのツメをFOMA端末のミゾに引っ掛け、電池パックとFOMA端末の「▲」マーク、金属端子が合うように、①の方向に取り付け、②の方向にはめ込む

おしらせ

●ツメがミゾに引っ掛かっていない状態で無理に押し込まないでください。ツメが破損する原因となります。

ご使用前の確認と設定

■取り外しかた

❶ 電池パックのつまみを①の方向に押し付けながら②の方向へ持ち上げる

充電のしかた

●お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■充電について

・詳しくは、付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
・FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02、FOMA海外兼用ACアダプタ 01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
・ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
・FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。
・コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
・電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
・ご使用の状況によっては、電池残量が100%になる前に充電が停止する場合があります。この場合、使用しているすべての機能を終了してから再度充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01またはPC接続用microUSBケーブル（試供品）から外し、再度取り付け直してください。

■電池パックの寿命について

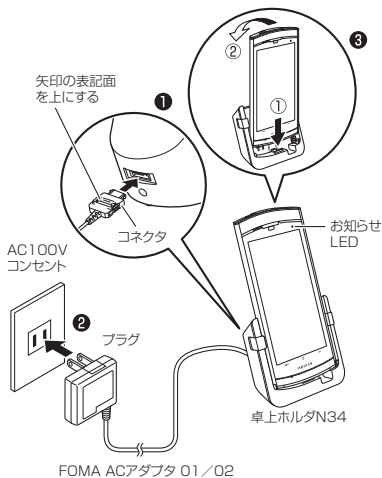
・電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
・1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
・充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

Li-ion00

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

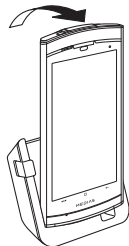
■防水性能に関して

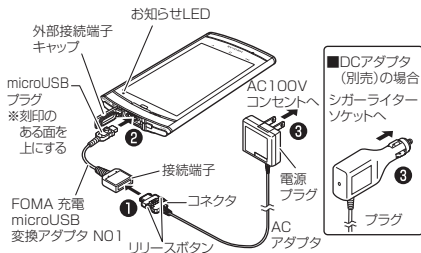
・電池パック、ACアダプタ、付属の卓上ホルダは防水性能を有していません。FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
・外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
・充電完了後は外部接続端子キャップを確実に閉じてください。浸水の恐れがあります。

卓上ホルダで充電する

1 ACアダプタ（別売）のコネクタを付属の卓上ホルダ背面の端子に水平に差し込む

2 ACアダプタのプラグをコンセントに差し込む

3 卓上ホルダを押さえながら、図のようにFOMA端末を①の方向に差し込んで、②の方向にしっかりと取り付ける

4 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を矢印の方向へ傾け取り外す

ACアダプタ／DCアダプタで充電する

- 必ずFOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書を参照してください。

1 ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01の接続端子に水平に差し込む

- コネクタの刻印がある面を上にした状態で、文字面を上にした接続端子に水平に差し込んでください。

2 外部接続端子キャップを開け（P.22）、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01のmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

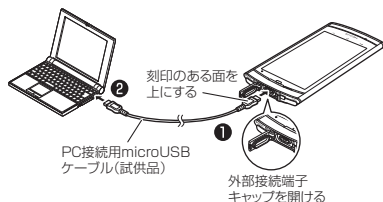
3 ACアダプタのプラグを電源コンセントに／DCアダプタのプラグを車のシガーライターソケットに差し込む

4 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる（P.22）

5 FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01の接続端子からACアダプタ／DCアダプタのコネクタを水平に取り外す

6 ACアダプタを電源コンセントから／DCアダプタを車のシガーライターソケットから取り外す

PC接続用microUSBケーブルで充電する

FOMA端末とパソコンを付属のPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続して、FOMA端末を充電することができます。

1 外部接続端子キャップを開け（P.22）、PC接続用microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

2 PC接続用microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む

③ 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から水平に取り外し、外部接続端子キャップを閉じる（P.22）

④ USBプラグをパソコンのUSBポートから水平に取り外す

おしらせ

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、電池残量が90%以上になると緑色で点灯します。充電が完了すると消灯します。
- 電池が切れた状態などでは、充電をはじめてもお知らせLEDがすぐに点灯しないことがありますが、充電自体ははじまっています。

<卓上ホルダ>

- 電源を切ったFOMA端末を卓上ホルダで充電すると、電源が入ります。

<DCアダプタ>

- DCアダプタのヒューズは、2Aを使っています。万が一、ヒューズ（2A）が切れた場合は、指定のヒューズを必ずお使いください。また、ヒューズ（2A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店などでお買い求めください。

電源を入れる／切る

■電源を入れる

① 電源キーを2秒以上押す

- はじめて電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。→P.36
- ホーム画面が表示されます。→P.40

■電源を切る

① 電源キーを1秒以上押す▶「電源を切る」▶「OK」

スリープモードについて

電源キーを押したり、FOMA端末を一定時間操作しないと、ディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。
電源キーを押して、スリープモードを解除できます。

画面ロックについて

電源を入れたり、スリープモードを解除したときは、タッチパネルがロックされています。
を までドラッグすると､ロックが解除されます。

画面の表示方向を切り替える

本FOMA端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。

- 表示中の画面によっては、画面表示が切り替わらない場合もあります。
- ディスプレイが地面に対し垂直に近い状態で操作してください。地面に対し水平に近い状態になっていると、画面表示は切り替わりません。
- 画面表示を自動で切り替わらないようにするにはホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「表示」の順にタップし、「画面の自動回転」のチェックを外してください。

基本操作

本FOMA端末はタッチパネル（ディスプレイ）を指で直接触れて操作します。

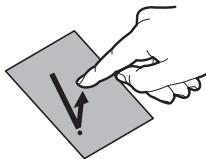
■タッチパネル利用上の注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。

次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面にのせたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作

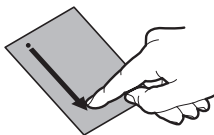
タップする

項目の選択や実行を行います。

タッチパネルに触れて、指を離します。

■ロングタッチ

タッチパネルに触れたままにすることで、メニューが表示される場合があります。

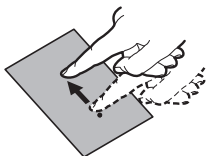
スライドする

表示したい方向に画面を上下左右にスクロールします。

タッチパネルに触れたまま、指を動かします。

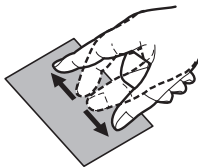
■ドラッグ

アイコンなどを指で触れたままスライドすることで、移動することができます。

フリックする

表示したい方向に画面をすばやくスクロールします。

すばやくスライドし指を離します。

2本の指の間隔を広げる／狭める

画面を拡大／縮小表示させます。

2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間隔を広げる／狭めるようにスライドします。

[•••][□][←]キーについて

[•••][□][←]キーでは主に以下の操作を行うことができます。

- [•••]：表示している画面で行えるメニューを表示します。検索や設定、削除など、表示している画面によって、メニューが表示されます。
- [□]：ホーム画面を表示することができます。機能を利用しているときにホーム画面に戻ることができます。また、ロングタッチすることで、タスク管理を行うことができます。
- [←]：一つ前の画面に戻ります。直前の画面に戻りたいときなどに利用します。

初期設定

はじめて電源を入れたときの設定

FOMA端末の電源をはじめて入れたとき、以下の設定が必要になります。

1. **初期設定画面が表示されたら言語をタップ▶「次へ」**
2. **表示内容を確認▶「次へ」**
3. **Googleのアカウントを設定する場合は「設定」**
   - 画面に従ってGoogleアカウントの設定、データのバックアップを行い、「次へ」をタップします。
4. **Googleの位置情報サービスを利用する場合は、チェックを入れる▶「同意する」▶「次へ」**
5. **GPS機能を利用する場合は、チェックを入れる▶「同意する」▶「次へ」**
6. **おサイフケータイの初期設定を行う場合は「設定する」**
   - 画面に従っておサイフケータイの初期設定を行い、「次へ」をタップしてください。
7. **ソフトウェア更新に関する説明を確認▶「次へ」**
8. **「完了」**
   - 「今すぐサイトを見る」をタップして、MEDIASのオフィシャルサイトをご覧になれます。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時は、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用するアクセスポイントを設定する

1. **ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」▶利用するアクセスポイントのラジオボタンをタップ**

アクセスポイントを追加で設定する

1. **ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」**
2. **[•••]▶「新しいAPN」**
3. **「名前」▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶「OK」**

4 「APN」▶アクセスポイント名を入力▶「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

6 [•••]▶「保存」

おしらせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

- アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 [•••]▶「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「mopera U（スマートフォン定額）」／「mopera U設定」のラジオボタンをタップ

おしらせ

- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、mopera Uの初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

Wi-Fi設定

Wi-Fiは、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントを利用して、メールやインターネットを利用する機能です。

■Bluetooth機器との電波干渉について
Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
- ●FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- ●10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-FiをONにしてネットワークに接続する

1. ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 「Wi-Fi」にチェックを入れる
   - ・自動的にWi-Fiネットワークのスキャンが開始され、利用可能なWi-Fiネットワークの名称が一覧表示されます。
3. 接続したいWi-Fiネットワークの名称をタップ
   - ・セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、接続に必要な情報を入力し、「接続」をタップしてください。

Wi-Fi簡単設定でWi-Fiネットワークに接続する

●アクセスポイント対応機器が「らくらく無線スタート」、「WPS」に対応している場合、アクセスポイントに接続するために必要なESSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定することができます。

1. ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 「Wi-Fi」にチェックを入れる
3. 「Wi-Fi簡単設定」▶「らくらく無線スタート」／「WPS」

■らくらく無線スタートの場合
- ・アクセスポイントのPOWERランプが緑色に点滅するまで「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- ・アクセスポイントのPOWERランプがオレンジ色に点灯するまで、もう一度「らくらくスタート」ボタンを押し続けてください。
- ・ステータスバーに[Wi-Fiアイコン]が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

■WPSの場合
- ・「プッシュボタン方式」：アクセスポイントの検索がはじまりますので、アクセスポイント本体またはアクセスポイントの設定画面のプッシュボタンを押してください。以降は画面の指示に従って操作を行います。
- ・「PINコード入力方式」：アクセスポイントの検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作を行います。
  FOMA端末の画面に「PINコード」（WPS用PINコード）が表示されたら、その番号をアクセスポイントに登録してください。
- ・ステータスバーに[Wi-Fiアイコン]が表示されたら、Wi-Fiネットワークを利用できます。

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

●アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

1. ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
2. 「Wi-Fi」にチェックを入れる
3. 「Wi-Fiネットワークを追加」
4. 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力し、セキュリティ（なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP）を選択
5. 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力▶「保存」

メールのアカウントを設定する

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定すると、Eメールを利用できるようになります。

●あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1. アプリケーション一覧画面で「メール」

   ■アカウントを追加で設定する場合

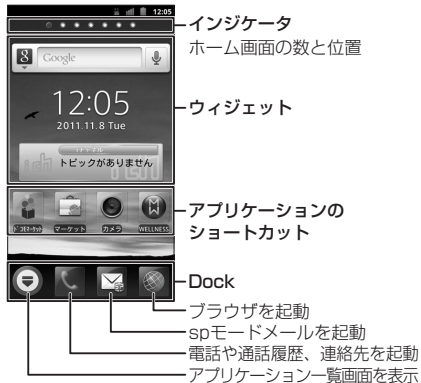
   ▶[•••]▶「アカウント」▶[•••]▶「アカウントを追加」
2. メールアドレスとパスワードを入力▶「次へ」
   - ・プロバイダ情報がプリセットされているメールアカウントの場合は、送信／受信メールサーバーの設定が自動で行われます。
   - ・プロバイダ情報がプリセットされていないメールアカウントの場合は、手動で設定する必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
3. アカウント名、ユーザー名を入力▶「完了」

Googleなどのアカウントを設定する

Googleのアカウントを設定することで、Gmailやマーケットを利用できるようになります。

1. ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「アカウントと同期」▶「アカウントを追加」
2. アカウントの種類をタップ
3. 画面に従ってアカウントを設定する

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、[ロ]をタップして呼び出すことができます。

画面をスライドすることで、ホーム画面を左右にページ移動することができます。

ホーム画面を追加する

1 ホーム画面で[•••]▶「ホーム画面一覧」

・ホーム画面のサムネイルが表示されます。

2 「+」

・ホーム画面は12画面まで追加できます。

■ホーム画面を削除する

▶削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶画面下部のゴミ箱アイコンまでドラッグし、指を離す

■ホーム画面を並べ替える

▶並べ替えたいホーム画面のサムネイルをロングタッチ▶移動させたい場所にドラッグし、指を離す

アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1 ホーム画面をロングタッチ

2 「ショートカット」

■ウィジェットを追加する

▶「ウィジェット」

■アプリケーションのグループ（P.44）を追加する

▶「グループ」▶追加したいグループをタップ

■ウェブページ（P.69）を追加する

▶「Webページ」▶追加したいウェブページのブックマークをタップ▶更新間隔をタップ▶「OK」

3 追加したいアプリケーションをタップ

・ホーム画面にアプリケーションのショートカットが追加されます。

ショートカットを移動する

1 ホーム画面で移動したいショートカットをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグし、指を離す

・他のページにショートカットを移動するときは、画面の右端または左端にショートカットをドラッグすると、ホーム画面が左右にページ移動します。

Dockを設定する

1 ホーム画面で追加したいショートカットをロングタッチ

2 移動したいDockの位置までドラッグし、指を離す

・ドラッグ先のアイコンと入れ替わります。

おしらせ

● は入れ替えできません。

フォルダをホーム画面に作成する

ショートカットをまとめて格納するフォルダや、連絡先のフォルダなどをホーム画面に追加します。

1 ホーム画面をロングタッチ

2 「フォルダ」

3 作成するフォルダの種類をタップ

フォルダにショートカットを追加する

● フォルダの種類が「新しいフォルダ」でのみ追加できます。

1 フォルダに追加したいショートカットをロングタッチ

2 ショートカットを追加したいフォルダまでドラッグし、指を離す

・フォルダをタップすると、フォルダが開き、そこからショートカットを選択できるようになります。

フォルダの名前を変更する

1 名前を変更したいフォルダをタップ

2 タイトルをロングタッチ

3 タイトルを入力▶「OK」

ショートカットやフォルダを削除する

1 削除したいショートカットやフォルダをロングタッチ

2 画面下部のゴミ箱アイコンまでドラッグし、指を離す

ホーム画面を切り替える

1 アプリケーション一覧画面で「ホーム画面 切替」▶切り替えたいホーム画面をタップ

壁紙を変更する

1 ホーム画面をロングタッチ

2 「壁紙」▶「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙」／「壁紙ギャラリー」▶設定したい画像をタップ▶「壁紙に設定」

・「ギャラリー」を選択した場合は、壁紙に設定したい画像を選んで、壁紙として使用する箇所を、トリミング枠をドラッグして指定します。「保存」をタップすると、壁紙として設定されます。
・「ライブ壁紙」を選択した場合は、壁紙の種類によっては「設定」をタップして、壁紙の設定を行うことができます。

ステータスバーを利用する

ステータスバーには通知情報を示す通知アイコンとFOMA端末の状態を示すステータスアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。

主なステータスアイコン

アイコン	説明
／／	要充電／電池残量／充電中
※	電波状態
※	国際ローミング中
	圏外
／※	3G通信中／使用可能
／※	GPRS通信中／使用可能
	機内モード設定中
※	Wi-Fi接続中
／	Bluetooth機能ON／対応機器接続中
	データ同期中
	おサイフケータイ ロック設定中
	ドコモUIMカード未挿入
	アラーム設定中
	通話中にスピーカーON
	マイクミュート設定中
／	マナーモード （バイブレーションON／OFF）
	ecoモードON
	GPS測位中
あ／A／数／Λ／⑨	入力文字種（ひらがな／英文字／数字／絵文字・顔文字・記号・定型文・文字コード／T9入力）

※Googleのアカウントを設定している（同期している）場合は青色に、設定していない（同期していない）場合は灰色になります。

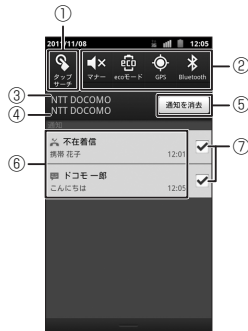
主な通知アイコン

アイコン	説明
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着spモードメールあり
	新着SMSあり
	SMS送信失敗
	留守番電話あり
	新着インスタントメッセージあり
	カレンダーの予定あり
	アラームがスヌーズ中
	音楽再生中

アイコン	説明
	セキュリティ設定「なし」のWi-Fiネットワークが存在する
	Bluetooth通信でファイル着信あり
	USB接続中
／	通話中／保留中
	不在着信あり
	データアップロード／送信
	データダウンロード／受信
	アプリケーションインストール完了
	インストール済みアプリケーションアップデートあり
	通知アイコンを表示しきれていないとき
	赤外線通信中
	ワンセグ視聴中
	ワンセグ録画中
	MEDIAS NAVIの更新あり
	ソフトウェア更新あり
	メジャーアップデート更新あり、更新中
	PC Link接続中
	PC Link利用可能
	PC Linkの確認メッセージあり
	USB PC Linkで接続中
	タップサーチ中
	エラー／警告メッセージあり
	本体に空き容量なし
	Wi-Fiアクセスポイント利用中
／	VPN接続中／切断

通知パネルを利用する

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

①タップサーチを利用します。

②アイコンをタップして、各機能の設定を切り替えます。

／：マナーモード（バイブレーションON／OFF）のON／OFF切替

：ecoモードの切替

：GPS機能のON／OFF切替

：Bluetooth機能のON／OFF切替

：Wi-Fi機能のON／OFF切替

：明るさの切替

：アカウント自動同期のON／OFF切替

③在圏する事業者名称が表示されます。

④サービスを提供する事業者名称が表示されます。
⑤タップするとチェックを入れた（⑦）通知情報とステータスバーの通知アイコンが消去されます。
⑥不在着信やダウンロードの完了などの情報が表示されます。
⑦消去したい通知にチェックを入れてから⑤をタップすると消したい通知アイコンを個別に消せます。

■通知パネルを閉じる

▶通知パネルの下部を上にドラッグ

アプリケーション一覧画面

アプリケーション一覧画面では、FOMA端末にインストールされているアプリケーションを、グループ別に表示します。

1 ホーム画面で「 」

■リスト表示に切り替える

▶[▪▪▪]▶「リスト表示」

- リスト表示のときに[▪▪▪]▶「タイル表示」でグループ表示に切り替わります。

グループを編集する

グループ名を変更する

1 アプリケーション一覧画面で変更したいグループをロングタッチ

2 「名称変更」▶グループ名を入力▶「OK」

■グループの色を変更する

▶「色変更」▶色をタップ

■グループを削除する

▶「削除」▶「Yes」

グループを追加する

1 アプリケーション一覧画面で[▪▪▪]

2 「グループ追加」

3 グループ名を入力▶「OK」

グループを並べ替える

1 アプリケーション一覧画面で並べ替えたいグループをロングタッチ

2 移動させたい場所にドラッグし、指を離す

グループのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション一覧画面で追加したいグループをロングタッチ▶「ホームへ追加」

おしらせ

- 「最近使ったアプリ」は、直前に利用したアプリケーション8項目を自動表示します。
- 「最近使ったアプリ」「ダウンロードアプリ」はグループ名の変更および削除はできません。

アプリケーションを編集する

アプリケーションを並べ替える

1 アプリケーション一覧画面で並べ替えたいアプリケーションをロングタッチ

2 移動させたい場所にドラッグし、指を離す

アプリケーションをアンインストールする

1 アプリケーション一覧画面でアンインストールしたいアプリケーションをロングタッチ▶「アンインストール」▶「OK」▶「OK」

アプリケーションのショートカットをホーム画面に追加する

1 アプリケーション一覧画面で追加したいアプリケーションをロングタッチ▶「ホームへ追加」

アプリケーション一覧

アプリケーション	説明
おサイフケータイ	お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただけるおサイフケータイを利用できます。 おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード<スマートフォン>編）』またはドコモマーケットをご覧ください。
音楽	→P.74
音声検索	音声を認識し、ブラウザでGoogle検索を行います。
カメラ	→P.71
カレンダー	カレンダーを表示したり、予定を登録したりできます。
ギャラリー	→P.73
検索	→P.50
声の宅配便	電話で声のメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。 本アプリを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
書籍・コミック E★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザーの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。 プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。

アプリケーション		説明
	設定	→P.62
	ソトメモ	写真とコメントを編集することで自分だけの地図を作ることができます。おでかけ先でのメモツールとして便利です。
	ダウンロード	ブラウザでダウンロードしたファイルの履歴を表示します。
	旅比較ねっと	大手旅行サイトの宿泊プランを横断検索できる他、GPSを利用して現在地付近の宿泊施設検索が利用できます。
	地図アプリ	ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリです。トライアル期間は無料で利用可能です。
	ついっぷる	ついっぷるを利用し、Twitterを簡単に利用できます。
	テレビ	→P.75
	電卓	電卓を利用できます。
	電話	→P.57
	電話帳 コピーツール	microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。

アプリケーション		説明
	電話帳 バックアップ	連絡先データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。 電話帳バックアップの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード<スマートフォン>編）』をご覧ください。
	トーク	Googleアカウントを所有する相手とチャット（文字によるおしゃべり）ができます。
	時計	時間や日付、天気予報の表示、アラームの設定ができます。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定・確認をサポートします。
	ドコモ マーケット	アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます。
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。 →P.3
	トルカ	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。
	ナビ	目的地への音声ナビゲーションなどができます。
	ニュースと天気	ニュースや天気予報を確認することができます。
	ビデオカメラ	→P.71

アプリケーション		説明
	ブラウザ	→P.67
	プレイス	現在地の情報から、近くのお店や施設を検索し情報を表示することができます。検索したお店などはGoogleマップの画面に表示することができます。
	ホーム画面切替	→P.41
	歩数計	歩数計を利用することができます。
	マーケット	Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。
	マクドナルド	マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリです。
	マップ	現在地や目的地の表示、目的地への経路検索などができます。
	メール	→P.63
	メッセージ	→P.66
	メロディコール	電話をかけてきた相手にお好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。 メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
	モシモカメラ	被写体の動きや顔を検知してエフェクトをかけることができます。

アプリケーション		説明
	楽天オークション	楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
	連絡先	→P.59
	andronavi	NECビッグローブが運営するAndroid端末向け情報配信サイト「andronavi」を利用できます。
	ATOK	文字入力についての設定や、辞書の登録などができます。
	BeeTV	BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。
	BOOKストア 2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
	Days	メールや通話の履歴、SNS上でのやり取りを自動的に作成された日記内で閲覧することができます。
	Evernote	ウェブサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、さまざまな情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。

アプリケーション		説明
	Gmail	→P.64
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。→P.77
	iD設定アプリ	iDは、お店の読み取り機にかざすだけでお支払いができる電子マネーです。 簡単な設定ですぐにiDが使えます。
	ｉチャネル	天気やニュースなどさまざまな情報を配信します。自動的に受信した最新の情報がホーム画面のウィジェットに表示されます。 ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
	Latitude	現在地を友人に教えたり、地図上で友人の現在地を確認したりできます。 利用するには、次の操作を行う必要があります ①Googleアカウントを使ってLatitudeに参加します。 ②友人のGoogleアカウントを追加することでその友人を追加し、友人の現在地の共有リクエストを受け入れます。 ③携帯電話やパソコンから現在地を更新します。
	MEDIAS NAVI	メーカーサイト「MEDIAS NAVI」に接続します。

アプリケーション		説明
	MEDIAS WELLNESS	シェイプアップや健康管理をナビゲートします。自分の好みに合わせてトレーニングやレコーディングが選べ、楽しく健康管理が続けられます。
	Quickoffice	microSDカードに保存されているドキュメントを表示、編集できます。
	spモードメール	ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。→P.64
	Topics	ついっぷるトレンドから世間で盛り上がっている話題、SNSのサイトから仲間で盛り上がっている話題を自動的に収集して、閲覧することができます。
	Twonky Mobile Special	スマートフォン内やインターネット上の動画･写真･音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。 インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。
	YouTube	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。

ウィジェット一覧

ホーム画面にウィジェットを貼り付けることで、以下の機能を利用することができます。

ウィジェット		説明
	おみせメモツール	近くのお店の情報を表示することができます。
	音楽（小）	簡易的なミュージックの操作パネルを表示することができます。
	音楽（大）	ジャケット画像などを含めたミュージックの操作パネルを表示することができます。
	カレンダー（近日中の予定）	カレンダーに登録してある近日中の予定が表示されます。
	カレンダー（小）	小さいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	カレンダー（大）	大きいサイズのカレンダーを貼り付けます。
	検索	検索ボックスを貼り付けます。→P.50
	写真フレーム	画像を貼り付けます。
	ソラダスお天気予報（小）／（大）	天気予報などを表示することができます。
	ついっぷる	ついっぷるのショートカットを貼り付けます。
	デジタル時計	デジタル時計を表示するウィジェットです。
	時計（2都市表示）	現在地の時間と指定した都市の時間が表示されます。
	時計（アナログ）	アナログ時計を貼り付けます。
	時計（デジタル）	デジタル時計を貼り付けます。
	ドコモマーケットウィジェット	ドコモマーケットの最新情報を定期的に取得して表示するウィジェットです。
	ニュースと天気	ニュースや天気予報を表示することができます。
	発着信履歴	電話の発信と着信の履歴を表示して、電話をかけることや連絡先登録などができるウィジェットです。
	フォトフレーム	指定したアルバムの写真を表示するウィジェットです。
	マーケット	Androidマーケットの情報を表示することができます。
	Days	Daysの情報を表示することができます。
	ｉチャネルウィジェット	ｉチャネルの情報を取得して表示するウィジェットです。
	Latitude	Latitudeの情報を表示することができます。
	Topics	Topicsの情報を表示することができます。
	Webページ	指定したウェブページを定期的に取得して表示するウィジェットです。
	YouTube	YouTubeで検索、閲覧することができます。

おしらせ

- ソフトウェア更新やメジャーアップデートを行うと、アプリケーション／ウィジェットの内容やアイコンの位置が変わることがあります。

検索機能を使う

FOMA端末内の連絡先やアプリケーションを検索したり、ウェブ検索をすることができます。

●検索の設定について→P.62

1 アプリケーション一覧画面で「検索」

2 「8」▶検索対象をタップ

3 検索する文字を入力▶「実行」

・検索結果が表示されます。
・検索する文字を入力すると、検索候補が表示されます。検索候補を選択して検索を実行することができます。
・検索候補からアプリケーションをタップすると、アプリケーションが起動します。

■音声で検索する

▶「 」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

・検索対象によってはご利用になれません。

タップサーチを利用する

画面上に検索したい文字がある場合に、文字をタップすることで検索を行うことができます。

1 通知パネルを開いて「 」

2 画面上の検索したい文字をタップ▶「OK」

・テキストボックスをタップして、文字を編集して検索できます。

おしらせ

●タップサーチの文字認識条件は以下のとおりです。
・認識可能な文字種類：白背景に黒文字で書かれた漢字・英字・カタカナ
・推奨文字サイズ：20〜40ドット
●アプリケーションによってはタップサーチモードにすると、画面を正しく表示できないことがあります。

タスク管理

起動中のアプリケーションを表示し、操作画面に切り替えることができます。また、不要なアプリケーションを終了させることもできます。

1 ［ロ］をロングタッチ

・起動中のアプリケーションが表示されます。

■アプリケーションを終了する

▶「✕」または「全てのアプリを終了する」▶「はい」

2 表示したいアプリケーションをタップ

おしらせ

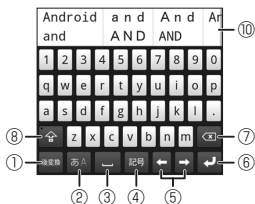
●複数のアプリケーションが同時に起動していると、電池の消耗が早くなる他、端末が不安定になりアプリケーションが強制終了したり、動作速度が低下することがあります。

文字入力

本FOMA端末では、ディスプレイに表示されるキーボードで文字を入力します。テキストボックスをタップすると、キーボードが表示され、文字が入力できます。

- キーボードには以下の2種類のキーボードがあります。

■QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語はローマ字で入力します。

■テンキーキーボード

携帯電話で一般的なキーボードです。

①		／：QWERTYキーボード／テンキーキーボードを切り替えます。 ♥ (^_^) #!?" 定型文 文字コード →P.53
	後変換	ひらがな／カナ／英字などに文字を変換します。
	カナ英数	テンキーキーボードのとき、カナ／英数などに文字を変換します。 半角／全角の切り替えもできます。
②	あA	■QWERTYキーボード(日本語入力モード) 入力する文字種を「ひらがな」→「英字」の順に切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。 [ATOKメニュー] ・「ATOKの設定」:「文字入力に関する設定を行う」→P.53 ・「単語登録」:単語を登録します。登録した単語は文字変換時に利用できます。 ・「英語入力モード⇔日本語入力モード」:入力モードを切り替えます。
	MENU	■QWERTYキーボード（英語入力モード） ATOKメニューが表示されます。
	あA1	■テンキーキーボード（日本語入力モード） 入力する文字種を「ひらがな」→「英字」→「数字」の順に切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。
	A1	■テンキーキーボード（英語入力モード） 入力する文字種を「英字」→「数字」の順に切り替えます。 ロングタッチするとATOKメニューが表示されます。
③		空白を入力します。
	変換	入力文字の変換を行います。
④	記号	キーボードを記号入力に切り替えます。

⑤	← ／ →	カーソルを移動します。変換時は変換範囲を変更します。
⑥	↵	改行の入力、入力文字を確定します。
	次へ	連絡先など次のテキスト入力欄があるときに、入力を完了し次の項目に移動します。
	実行	ウェブページや検索ワードの入力のときなどに、入力したテキストボックスの機能を実行します。
⑦	⌫	カーソル位置の左の文字を削除します。 テンキーキーボードでは「文字削除キー」(P.54)で右の文字を削除（CLR）にすることもできます。
⑧	⇧	1回タップすると次に入力する文字が大文字になり（⇧）、2回タップすると大文字に固定します（⇧）。一部記号も入力できます。
⑨	↶	1つ前の文字を表示（逆順）します。
	戻す	1つ前の操作を取り消します。
⑩	-	文字入力時に予測候補が表示され、タップして文字を入力することができます。

テンキーキーボードの入力方式を選択する

テンキーキーボードで文字を入力するときの入力方式を選択します。

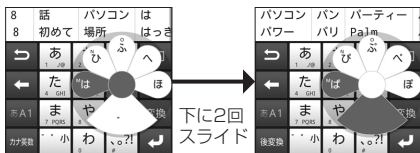
1 文字入力画面で あA／あA1 をロングタッチ▶「ATOKの設定」▶「ソフトウェアキーボード」▶「入力方式」

2 「ケータイ入力」／「ジェスチャー入力」／「フリック入力」／「T9入力」

■ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると、キーのまわりにジェスチャーガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の文字までスライドします。
また、タップした指を下に1回または2回スライドすることで、濁音／半濁音／小文字のジェスチャーガイドを表示できます（英字入力時は、大文字／小文字を切り替えます）。
例：「ぱ」を入力する場合

■フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタップしたままにすると､キーの上にフリックガイド（文字）が表示されます。タップした指をそのまま目的の方向にフリックします。
また、フリック入力後 ゛゜小 を1回または2回タップして、濁音／半濁音／小文字を入力できます。

ご使用前の確認と設定

■T9入力

入力したい文字が割り当てられているキーを1回ずつタップし、表示された予測候補の中から目的の文字を選択して入力します。

例：「春」を入力する場合

▶「は」「ら」とタップ

予測候補に「春」と表示されるのでタップします。

- 目的の文字が予測候補にないときは、読み編集をタップして、読みを入力します。
- 濁音／半濁音を入力する場合は、゛゜をタップします。
- 英語と日本語を切り替えるときは英語／日本語をタップします。
- 漢字かなをタップして、予測候補の表示を「漢字／かな」に切り替えることができます。

「変換」に「はる」の候補が表示されるので、「春」をタップします。「予測」には「はる」からの予測候補が表示されます。

- 変換範囲を変えたい場合は、←範囲／範囲→をタップします。

絵文字／顔文字／記号パレットで入力する

●絵文字はspモードメールでのみ利用できます。

1 文字入力画面で をタップ

2 「♥」／「(^_^)」／「#!?"」

・キーボードに該当のパレットが表示されます。

■定型文／文字コードから入力する

▶「定型文」／「文字コード」

■連絡先のデータを引用する

▶「 」▶「電話帳／ATOKダイレクト」▶連絡先をタップ▶引用したい項目にチェックを入れる▶「OK」

Androidキーボードに切り替える

英字を入力する場合は、Androidキーボードに切り替えて入力することもできます。

●Androidキーボードでは日本語入力できません。

1 文字入力画面でテキストボックスをロングタッチ

2 「入力方法」▶「Androidキーボード」

・日本語入力する場合は「ATOK」をタップします。

文字入力に関する設定を行う

キー操作時の操作音やバイブレーション、文字のサイズなど文字入力に関する設定を行います。

1 文字入力画面で あA／あA1 をロングタッチ▶「ATOKの設定」

2 以下の項目から選択

ソフトウェアキーボード

キー操作音……操作時に操作音が鳴るように設定します。

キー操作バイブ……操作時にバイブレーションするように設定します。

入力方式→P.52

トグル入力……ジェスチャー入力、フリック入力時でもケータイ入力ができるように設定します。
「自動カーソル移動を行う」にチェックを入れると、入力方式がケータイ入力のときに、一定時間入力をしないと、カーソルを右に移動するように設定します。カーソルが移動するまでの早さも設定します。「ジェスチャー／フリック入力時にもケータイ入力を有効にする」にチェックを入れていると、ジェスチャー入力、フリック入力でも自動カーソル移動を行います。
自動カーソル移動の設定は「入力方式」の設定ごとに変更されます。

文字削除キー……文字削除時、カーソルの左の文字を削除（「BS（ ）」）するか、右の文字を削除（「CLR（CLR）」）するかを設定します。

ジェスチャーガイド……ジェスチャー入力時にジェスチャーガイドを表示するかどうかを設定します。チェックを入れるとガイドが表示され、ガイドが表示されるまでの時間を設定できます。

フリックガイド……フリック入力時にフリックガイドを表示するかどうかを設定します。

フリック感度……フリック入力で文字を打つときの文字選択の感度を設定します。

切り替え時は半角英字……テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときに、半角英字になるように設定します。

縦画面の数字キー表示……縦画面でQWERTYキーキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

横画面の数字キー表示……横画面でQWERTYキーキーボードを表示するときに、数字キーを表示するように設定します。非表示にした場合はフリック操作で数字などを入力します。

入力・変換

推測変換……文字入力時に推測候補を表示するよう設定します。

未入力時の推測候補表示……入力を確定（変換）した文字に続く単語を推測して、候補を表示するように設定します。推測変換にチェックが入っている場合に選択できます。

自動スペース入力……英語入力モード時に単語を確定すると自動的にスペースを挿入するように設定します。

スペースは半角で出力……日本語入力時にもスペースを半角で入力するように設定します。

学習データの初期化……学習データ、絵文字・顔文字・記号入力パネルの履歴を初期化します。

デザイン

文字サイズ……変換候補の文字サイズを設定します。

表示行数（縦画面）……縦画面表示での変換候補の表示される行数を設定します。

表示行数（横画面）……横画面表示での変換候補の表示される行数を設定します。

ツール

辞書ユーティリティ……ユーザー登録単語データの管理をします。

定型文ユーティリティ……ユーザー定型文データの管理をします。絵文字に対応していないテキストボックスでは、絵文字を使用している定型文は表示されません。

設定の初期化→P.55

文字入力の設定を初期化する

「ATOKの設定」をお買い上げ時の状態に戻します。

1. **文字入力画面で あA／あA1 をロングタッチ▶「ATOKの設定」▶「設定の初期化」▶「OK」**

おしらせ

- 学習データや追加したユーザー辞書の単語、定型文は初期化されません。

ロック／セキュリティ

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は、「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

- 「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、ユーザー証明書利用時、発行申請などに使用する4～8桁の番号です。

- 本FOMA端末ではPIN2コードは利用できません。
- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

ドコモUIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPIN1コードの入力が必要になるように設定します。

1. ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」▶「PIN設定」
2. 「PIN1コード入力設定」

   ■PIN1コードを変更する場合

   ▶「PIN1コード変更」▶現在のPIN1コードを入力▶「OK」▶新しいPIN1コードを入力▶「OK」▶再度新しいPIN1コードを入力▶「OK」
   - あらかじめ「PIN1コード入力設定」を有効にしておく必要があります。
3. PIN1コードを入力▶「OK」

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更することができません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

■ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

- SIMカードがPUKでロックされている旨のメッセージが表示されたら、以下のように解除します。
  「緊急通報」▶「⚹⚹05⚹[PUKコード]⚹[新しいPIN1コード]⚹[新しいPIN1コード]#」と入力
- 例えば、PINロック解除コードが「88888888」で、ドコモUIMカードのPIN1コードを「2580」に変更する場合は、「⚹⚹05⚹88888888⚹2580⚹2580#」と入力します。

電話をかける／受ける

電話をかける

1 アプリケーション一覧画面で「電話」

2 電話番号を入力

- 電話番号の入力を間違えた場合は、⌫をタップして入力した番号を消去します。
- 電話番号の前に「186」／「184」を付けると、その発信に限り番号通知／番号非通知で発信します。

3 「📞」

■通話音量を調整する

▶ボリュームキーを押す

■通話を保留する

▶「保留」

- 保留を解除する場合は「保留解除」をタップします。
- 通話を保留するにはキャッチホンの契約が必要です。

■相手の声をスピーカーから流す

▶「スピーカー」

- タップするたびにON／OFFが切り替わります。

■自分の声を相手に聞こえないようにする

▶「ミュート」

- タップするたびにON／OFFが切り替わります。

■Bluetooth機能を利用する

▶「Bluetooth」

- タップするたびにON／OFFが切り替わります。ヘッドセットやハンズフリーに対応したBluetooth機器と接続しているときに利用できます。

4 通話が終了したら「⌒」

おしらせ

- ∞ をタップまたは「1」をロングタッチすると、1417（留守番電話サービスセンター）に発信します。

■緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
  110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

おしらせ

- PIN1コード入力設定を有効に設定している場合、機内モード中に緊急通報をする際は、PIN1コードを入力する操作が必要となります。
- 画面ロックを設定している場合、解除パターン入力画面やPINコード入力画面ではパスワードの入力を行わなくても緊急通報は可能です。それぞれの入力画面で「緊急通報」をタップしてください。「緊急通報」画面が表示され、緊急電話番号にだけ電話をかけることができます。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。
- 日本国内では、電源ON時のPINコード入力画面から「緊急通報」をタップしても、緊急通報110番／119番／118番に接続できません。PINコードについて詳しくは「ロック／セキュリティ」（P.55）を参照してください。

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- WORLD CALLについて詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

1. **アプリケーション一覧画面で「電話」**
2. **「0」をロングタッチ**
   ・「+」が表示されます。
3. **国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号の順に入力▶「」**

おしらせ

- 地域番号（市外局番）が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

1. **電話がかかってきたらを（右側）にドラッグ**

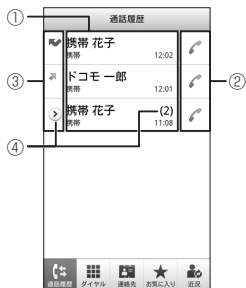
   ■着信を拒否する
   ▶を（左側）にドラッグ
2. **通話が終了したら「」**

おしらせ

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに着信を拒否すると、留守番電話サービスセンターまたは指定した転送先へ着信を転送します。

通話履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 アプリケーション一覧画面で「電話」▶「通話履歴」

①発信や着信をした相手の名前などが表示されます。
②電話を発信します。
③履歴アイコンが表示されます。
- ：発信した履歴
- ：着信した履歴
- ：不在着信履歴

④同じ相手との履歴が連続している場合、まとめて表示され、になります。括弧内の数字は履歴件数です。

■通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

▶登録したい履歴をロングタッチ▶「連絡先に追加」▶「連絡先を新規登録」▶必要な項目を入力▶「保存」

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。
- すでに登録されている連絡先に登録する場合は、連絡先を選択します。

■履歴を削除する

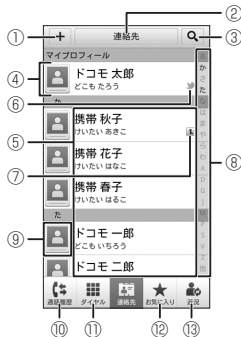
▶［▪▪▪］▶「通話履歴を全件消去」▶「OK」

- 個別に削除したい場合は、削除したい履歴をロングタッチして、「通話履歴から消去」をタップします。

連絡先（電話帳）

連絡先には電話番号、Eメールアドレス、SNS（Twitter、Facebook、mixi）のアカウント情報などを登録できます。連絡先から簡単な操作で発信したり、SNSの更新情報をチェックできます。

- SNS情報を登録・取得する際に、通信が発生する場合があります。

1 アプリケーション一覧画面で「連絡先」

①連絡先を新規登録します。
名前、電話番号、メールアドレスなど、必要な項目を入力して「保存」をタップします。

- 複数のアカウントを登録している場合は、登録するアカウントを選択します。

②選択したグループに所属する連絡先を表示します。

電話

③キーワードを入力して、連絡先を検索します。
④自分のプロフィール（マイプロフィール）が表示されます。
をタップしてマイプロフィールを編集したり、Twitter、Facebook、mixiのアカウント登録ができます。
⑤連絡先（プロフィール）を表示します。→P.60
⑥登録したSNSのアイコンを表示します。
⑦統合した連絡先（P.61）にアイコンが表示されます。
⑧タップまたはドラッグしたインデックスにジャンプします。
⑨画像を選択して表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成したり、SNSのサイトへ移動することができます。
⑩通話履歴を表示します。→P.59
⑪電話番号を入力する画面を表示します。→P.57
⑫お気に入りに登録した連絡先や、よく使う連絡先を表示します。
プロフィール画面でお気に入りの登録ができます。
⑬登録した連絡先のSNSの更新情報を確認します。
SNSの情報を更新したり、TwitterやFacebook、mixiのページへ移動することができます。

■連絡先を削除する

▶ ••• ▶「その他」▶「連絡先削除」▶削除したい連絡先にチェックを入れる▶「完了」

- 個別に削除したい場合は、削除したい連絡先をロングタッチして、「削除」をタップします。

■連絡先をmicroSDカード／ドコモUIMカードにインポート／エクスポートする

▶ ••• ▶「その他」▶「インポート／エクスポート」▶以下の項目から選択

SIMカードからインポート……ドコモUIMカードからFOMA端末に連絡先を読み込みます。

SIMカードにエクスポート……FOMA端末からドコモUIMカードに連絡先を保存します。

SDカードからインポート……microSDカードからFOMA端末に連絡先を読み込みます。

SDカードにエクスポート……FOMA端末からmicroSDカードにすべての連絡先を保存します。

表示可能な連絡先を共有……表示可能なすべての連絡先を、Bluetooth通信やメールで送信します。

プロフィール画面を表示する

1 連絡先の画面で表示したい連絡先の名前をタップ

①画像と名前を表示します。
画像を選択して表示されたアイコンをタップして、電話をかけたりメールを作成したり、SNSのサイトへ移動することができます。
②連絡先（プロフィール）を編集します。
③☆をタップすることでお気に入り登録のON／OFFを設定できます。

④登録情報を表示します。
表示項目は、登録内容によって異なります。
登録内容によっては、項目をタップまたはロングタッチすることで、電話発信、EメールやSMSの送信、Googleマップやカレンダーの起動などが使用できます。

⑤連絡の履歴を確認したり、SNSの更新情報を表示します。

おしらせ

- 同じ連絡先（同じ名前やフリガナなど）が複数登録されている場合など、複数の連絡先データを1つにまとめる（統合する）ことができます。
  連絡先を編集する画面で[•••]▶「統合」▶統合する連絡先をタップ
  統合を解除したいときは以下の操作を行ってください。
  連絡先を編集する画面で[•••]▶「分割」▶「OK」

各種設定

設定メニュー

FOMA端末の各種設定を行います。

1 ホーム画面で[メニュー]▶「本体設定」

2 以下の項目から選択

無線とネットワーク……機内モードやWi-Fi、Bluetooth、Wi-Fiアクセスポイント、VPN、PC Linkなど、各種ネットワークに関する設定を行います。

通話設定……留守番電話サービスやキャッチホン、国際ダイヤルアシスト設定など、通話に関する設定を行います。

音……マナーモードや着信音などの設定を行います。

表示……画面の明るさなどの設定を行います。

ecoモード……電池の消費を抑えるecoモードに関する設定を行います。

現在地情報とセキュリティ……セキュリティロックや、位置情報の取得について設定します。

アプリケーション……アプリケーションの管理に関する設定を行います。

アカウントと同期……オンラインサービスのアカウントの設定やデータの同期に関する設定を行います。

プライバシー……Googleアプリケーションのバックアップ設定やデータの初期化を行います。

ストレージ……microSDカードやFOMA端末の容量を確認したり、microSDカードのフォーマットをすることができます。

検索……検索機能（P.50）の設定を行います。

言語とキーボード……FOMA端末で使用する言語を変更したり、キーボード操作時の設定を行います。

音声入出力……音声検索や、テキストから音声への変換機能を設定します。

ユーザー補助……操作時に音や振動で反応するユーザー補助アプリケーションの設定を行います。

日付と時刻……FOMA端末の時計に関する設定を行います。

端末情報……端末の状態を確認したり、ソフトウェア更新や、OSのバージョンアップを行います。

おしらせ

<表示>

- 電池残量が少なくなると、省電力のため自動的に「画面の明るさ」が最小に設定されます。

メール／ブラウザ

Eメール

mopera Uや一般のサービスプロバイダが提供するメールアカウントをFOMA端末に設定し、パソコンと同じようにEメールを送受信できます。

●「メールのアカウントを設定する」→P.39

Eメールを表示する

1. アプリケーション一覧画面で「メール」
   - 受信トレイ画面が表示されます。

   ■受信トレイを更新する

   ▶[•••]▶「更新」
   - 新着メールがある場合は受信し、「受信トレイ」に表示されます。

2. 読みたいメールをタップ

   ■Eメールを返信する

   ▶「返信」／「全員に返信」▶メッセージを入力▶「送信」

   ■Eメールを転送する

   ▶[•••]▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶「送信」

   ■Eメールを削除する

   ▶「削除」

Eメールを作成して送信する

1. 受信トレイ画面で[•••]▶「作成」

2. 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

   ■CcやBccを追加する

   ▶[•••]▶「Cc／Bccを追加」

3. 「件名」に件名を入力

4. 「メッセージを作成」にメッセージを入力

   ■添付ファイルを追加する

   ▶[•••]▶「添付ファイルを追加」▶添付ファイルの種類をタップ▶添付ファイルをタップ

5. 「送信」

メールボックスを開く

1. 受信トレイ画面で[•••]▶「フォルダ」
   - 受信トレイや送信トレイなどが表示されます。

   ■EメールをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

   ▶[•••]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

Eメールの設定を変更する

1. 受信トレイ画面で[•••]▶「アカウントの設定」

   ■メールアカウントを切り替える
   - 複数のメールアカウントを設定している場合にメールアカウントを切り替えます。

   ▶「アカウント」▶切り替えるメールアカウントをタップ

❷ 設定する項目をタップ

■新着Eメールの通知を設定する

▶以下の項目から選択

メール着信通知……新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択……新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

■新着Eメールの自動確認を設定する

・新着Eメールが届いているかサーバーに自動で確認をするように設定できます。

▶「受信トレイの確認頻度」▶「自動確認しない」または自動確認の間隔を設定する

・一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

●spモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード<スマートフォン>編）』をご覧ください。

❶ アプリケーション一覧画面で「spモードメール」

Gmail

Gmailは、Googleのメールサービスです。FOMA端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

●Gmailを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。→P.39

Eメールを表示する

❶ アプリケーション一覧画面で「Gmail」

・メッセージスレッド一覧画面が表示されます。

・Gmailでは、返信ごとにEメールをメッセージスレッドにまとめて表示します。新着Eメールが既存のEメールへの返信メールであれば、それらは同じメッセージスレッドにまとめられます。新規のEメールや、件名を変更した場合は、新しいメッセージスレッドが作成されます。

■アカウントを切り替える

▶[•••]▶「アカウント」▶表示したいアカウントをタップ

■Gmailを更新する

▶[•••]▶「更新」

・FOMA端末のGmailとウェブサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

■Eメールを検索する

▶[•••]▶「検索」▶検索ボックスにキーワードを入力▶「🔍」

❷ メッセージスレッドをタップ

・複数のメールがある場合、「X件の既読メッセージ」をタップするとメッセージの一覧が表示されます。読みたいメッセージをタップしてメッセージを確認できます。

・[連絡先アイコン]をタップして連絡先の登録や確認ができます。

■Eメールを返信する
▶「 」▶メッセージを入力▶[•••]▶「送信」
・全員に返信する場合は、「 ◀ 」をタップして「全員に返信」をタップします。

■Eメールを転送する
▶「 ◀ 」▶「転送」▶「To」に転送先のメールアドレスを入力▶[•••]▶「送信」

■Eメールを削除する
▶「削除」

Eメールを作成して送信する

1 メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「新規作成」

2 「To」に送信相手のメールアドレスを入力

■CcやBccを追加する
▶[•••]▶「Cc／Bccを追加」

3 「件名」に件名を入力

4 「メッセージを作成」にメッセージを入力

■添付ファイルを追加する
▶[•••]▶「添付」▶添付ファイルの種類をタップ▶添付ファイルをタップ

5 [•••]▶「送信」

メッセージスレッドの管理

1 メッセージスレッド一覧画面でスレッドをロングタッチ

2 以下の項目から選択

開く……メッセージスレッドを開きます。

アーカイブ……メッセージスレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたメッセージスレッドは受信トレイに表示されません。

ミュート……メッセージスレッドを非表示にします。

未読にする／既読にする……メッセージスレッドを未読／既読にします。

削除……メッセージスレッドを削除します。

スターを付ける／スターをはずす……メッセージスレッドにスターを付けたり外したりします。

ラベルを変更……メッセージスレッドのラベルを追加／変更します。

迷惑メールを報告……メッセージスレッドが削除され、迷惑メールとしてGoogleに報告されます。

ヘルプ……Googleモバイルヘルプページが表示されます。

■アーカイブまたはミュートしたメッセージスレッドを再表示する
メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「ラベルを表示」▶「すべてのメール」

おしらせ
● FOMA端末ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。

メッセージスレッドをラベルごとに表示する

「ラベルを変更」で設定したメッセージスレッドのみを表示させることができます。

1 メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「ラベルを表示」

❷ 表示させたいラベルの種類をタップ

・スター（★）の付いたメッセージスレッドや送信済みのメールのみを表示させることもできます。

Gmailの設定を変更する

❶ メッセージスレッド一覧画面で[•••]▶「その他」▶「設定」

❷ 設定する項目をタップ

■新着Eメールの通知を設定する

▶以下の項目から選択

メール着信通知……新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択……新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着Eメールをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

一度に通知する……新着Eメールを一度に通知するかどうかを設定します。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信します。

❶ アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

・メッセージ画面が表示されます。

■SMSを作成して送信する

▶「新規作成」▶「To」に送信先の電話番号、「メッセージを入力」にメッセージを入力▶「送信」

■送受信したSMSを表示する

▶メッセージスレッドをタップ

■SMSを返信する

▶返信したい宛先をタップ▶メッセージを入力▶「送信」

■SMSを転送する

▶メッセージスレッドをタップ▶転送したいSMSをロングタッチ▶「転送」▶「To」に転送先の電話番号を入力▶「送信」

■SMSの電話番号を連絡先に登録する

▶メッセージスレッドをロングタッチ▶「連絡先に追加」▶「連絡先を新規登録」または連絡先をタップ

■SMSをmicroSDカードにインポート／エクスポートする

▶[•••]▶「インポート／エクスポート」▶「SDカードからインポート」／「SDカードにエクスポート」

おしらせ

- メッセージ入力中に[•••]▶「絵文字を挿入」で、Android搭載の端末で表示することができる絵文字を、挿入することができます。入力時には顔文字として表示されますが、Android搭載の端末で受信すると、絵文字で表示されます。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「＋」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」ではじまる場合には、「0」を除いて入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。

SMSを削除する

1 アプリケーション一覧画面で「メッセージ」

■1件削除する
▶メッセージスレッドをタップ▶削除したいSMSをロングタッチ▶「メッセージを削除」▶「削除」

■メッセージスレッドを削除する
▶削除したいメッセージスレッドをロングタッチ▶「スレッドを削除」▶「削除」
・メッセージスレッド内のSMSがすべて削除されます。

■すべてのメッセージスレッドを削除する
▶[•••]▶「スレッドを削除」▶「削除」

■SMSの自動削除を設定する
▶[•••]▶「設定」▶「古いメッセージを削除」にチェックを入れる▶「テキストメッセージの制限件数」▶メッセージスレッドごとの制限件数を入力▶「設定」

おしらせ
●以下の操作でSMSを保護できます。
メッセージ画面でメッセージスレッドをタップ▶保護したいSMSをロングタッチ▶「メッセージをロック」

SMSの設定を変更する

1 メッセージ画面で[•••]▶「設定」

2 設定する項目をタップ

■新着SMSの通知を設定する
▶以下の項目から選択

通知……新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択……新着SMSをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション……新着SMSをお知らせするときの、バイブレーションを設定します。

ブラウザ

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。本FOMA端末では、パケット通信やWi-Fiによる接続でサイトを利用できます。

ブラウザを起動してウェブページを表示する

1 アプリケーション一覧画面で「ブラウザ」

アドレスバー

2 アドレスバーをタップ▶URLまたはキーワードを入力

・アドレスバーにURLまたはキーワードを入力すると、候補リストが表示されます。

■音声検索を行う

▶アドレスバーをタップ▶「 」▶マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

3 「→」または候補リストから表示したいウェブページをタップ

おしらせ

●FOMA端末に内蔵されたFlash Playerに対して最新版のアップデートプログラムがインストールされていないとウェブコンテンツを閲覧できない場合があります。Androidマーケット（P.47）に接続の上、Flash Playerの更新情報を確認してください。

ウェブページ表示中の操作

■スクロール

・スクロールしたい方向にスライド→P.35

■拡大／縮小

・拡大／縮小したい箇所を2本の指で広げる／狭める→P.35

・拡大したい部分をダブルタップ（2回続けてタップ）、再度ダブルタップしてもとの表示に戻す

■ウェブページを前後に移動

・[←]で前のページに戻る、[•••]▶「進む」で次のページに進む

ウェブページに含まれる文字を検索する

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「ページ内検索」

2 検索文字を入力

3 「◀」／「▶」

・前後の一致する文字を表示します。

4 「×」

・検索を終了します。

ウェブページに含まれる文字をコピーする

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「テキストを選択してコピー」

2 コピーする文字をドラッグし、◸を開始位置に、◹を終了位置にドラッグ▶選択した文字をタップ

おしらせ

●コピーした文字は、ブラウザの検索ボックスやEメールなど他のアプリケーションに貼り付けることができます。貼り付けたいテキストボックスをロングタッチして「貼り付け」をタップしてください。

ブックマークを利用する

ウェブページをブックマークに登録して、すばやくウェブページを開くことができます。

ブックマークに登録する

1 登録したいウェブページで[•••]▶「ブックマーク」

・ブックマークがサムネイル表示されます。

2 「★追加」

3 ブックマークの名前を確認／変更する▶「OK」

ブックマークに登録したウェブページを表示する

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「ブックマーク」

■よく使うウェブページを表示する
▶「よく使用」▶表示したいウェブページをタップ

■閲覧履歴からウェブページを表示する
▶「履歴」▶表示したいウェブページをタップ

■ブックマークをmicroSDカードにインポート/エクスポートする
▶[•••]▶「インポート」/「エクスポート」

2 表示したいブックマークをタップ

おしらせ

- 「よく使用」、「履歴」表示時、ウェブページ名の右側に☆が表示されます。このアイコンをタップして、ブックマークへの追加（☆が金色）/削除（☆が灰色）が行えます。

ウェブページをホーム画面に貼り付ける（Webページウィジェット）

ウェブページのキャプチャ画面をホーム画面に貼り付けることで、貼り付けたウェブページを簡単に表示することができます。また、更新間隔を設定することで、貼り付けたウェブページの表示を自動で最新の情報に更新することができます。

1 貼り付けたいウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「ページを共有」▶「Webページウィジェット（docomo Palette UI）」

■ブックマークから選択する
ブックマークを表示して貼り付けたいウェブページをロングタッチ▶「リンクを共有」▶「Webページウィジェット（docomo Palette UI）」

2 更新間隔をタップ▶「OK」

貼り付けたウェブページをブラウザで表示する

1 貼り付けたウェブページをタップ▶[•••]▶「ブラウザで開く」

設定を変更する

1 「🖉」▶以下の項目から選択

更新間隔……最新の情報に更新する間隔を設定します。

対象ブックマーク……貼り付けたウェブページを、ブックマークから選択しなおします。

新しいブラウザウィンドウを開く

最大8つのウェブページを開き、切り替えて表示できます。

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「新しいウィンドウ」

・新しいブラウザウィンドウが開き、設定されているホームページが表示されます。

■ウィンドウを切り替える

▶「ウィンドウ」▶表示したいブラウザウィンドウをタップ

ウェブページのリンクを操作する

ウェブページに表示されているリンクから、以下の操作ができます。

■URL

・タップしてウェブページを開きます。
・ロングタッチして、URLをブックマークに登録したり、URLをコピーしたり、新しいウィンドウで表示するなどできます。

■メールアドレス

・タップしてメールを作成します。
・ロングタッチして、メールアドレスをコピーします。

■電話番号

・タップして電話発信します。

ウェブページに表示されている画像を保存する

1 ウェブページ表示中に、保存したい画像をロングタッチ▶「画像を保存」

保存した画像を確認する

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「ダウンロード一覧」

2 リストをタップ

ブラウザの設定を変更する

1 ウェブページ表示中に[•••]▶「その他」▶「設定」

2 設定する項目をタップ

■ウェブページを常に横向きで表示する

▶「常に横向きに表示」にチェックを入れる

■ウェブページをダブルタップ（2回続けてタップ）したときの倍率を設定する

▶「デフォルトの倍率」▶「低」／「中」／「高」

■文字サイズを変更する

▶「テキストサイズ」▶「最小」／「小」／「中」／「大」／「最大」

■ホームページを設定する

・新しいブラウザを開いたときに表示されるページを設定します。

▶「ホームページ設定」▶ホームページに設定したいURLを入力▶「OK」

カメラ

■カメラ利用にあたって

- カメラは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線がある場合があります。また、光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとは、画質が劣化することがあります。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色するなど、故障の原因となります。
- 撮影時は、レンズに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消費量が多くなるため、撮影が終了したら速やかにカメラを終了させることをおすすめします。電池残量が少ない状態でカメラ撮影を行うと、画面が暗くなったり乱れたりすることがあります。
- 手ブレ補正を「OFF」に設定している場合、撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく手ブレ補正を「オート」に設定して撮影することをおすすめします。
- 電池残量が少ないとき、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音、動画撮影の開始音／終了音は鳴ります。また、音量を変更することや消去することはできません。

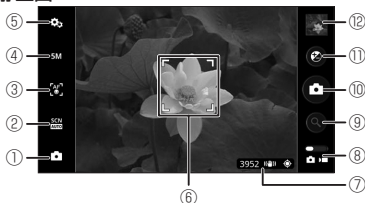
著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面の見かた

■静止画

①撮影モード

- 標準：標準の撮影モードです。
- クイックショット：短い時間ですばやく撮影できます。より綺麗に撮影したい場合は、撮影モードを「標準」にしてください。
- 連写：5枚から最大100枚の連続撮影モードです。
- 高感度：暗い場所での被写体のブレを最小限に抑えて撮影します。
- タッチ撮影：タップした位置にピントを合わせ簡単に撮影できます。

②シーン
③オートフォーカス：接写や顔検出などの設定を行うことができます。
④サイズ（画像サイズ）
⑤その他の設定：ライト、画質、手ブレ補正、セルフタイマーなどの設定を行うことができます。
⑥フォーカス枠
⑦撮影可能枚数・手ブレ補正・位置情報取得状態
⑧静止画／動画の切り替え
⑨ズーム
⑩シャッター
⑪明るさ
⑫ギャラリー：撮影した静止画を見ることができます。

■動画

撮影前

撮影中

①オートフォーカス
②サイズ（画像サイズ）
③その他の設定：ライト、画質、手ブレ補正などの設定を行うことができます。
④撮影可能時間・手ブレ補正
⑤静止画／動画の切り替え
⑥ズーム
⑦録画の開始／終了
⑧明るさ
⑨ギャラリー：撮影した動画を見ることができます。
⑩撮影経過時間

カメラで撮影する

カメラで撮影した静止画と動画は、自動的にmicroSDカードに保存されます。microSDカードが挿入されていない場合は、撮影ができません。

静止画を撮影する

1 アプリケーション一覧画面で「カメラ」

2 カメラを被写体に向ける

3 「📷」
- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

動画を撮影する

1 アプリケーション一覧画面で「ビデオカメラ」

2 カメラを被写体に向ける

3 「●」
- 録画開始音が鳴り、録画が開始されます。

4 「■」
- 録画終了音が鳴り、録画が終了します。

おしらせ

- 動画撮影中に通知音が鳴ると、通知音が録音される場合があります。

ギャラリー

カメラ撮影やサイトからのダウンロードなどで、microSDカードに保存した静止画／動画を表示／再生します。

- 動画を再生できるファイルは以下のとおりです。H.263（3gp,mp4）、H.264（3gp,mp4）、MPEG-4 SP（3gp）、WMV（wmv,asf）

1 アプリケーション一覧画面で「ギャラリー」
- 撮影画像やダウンロード画像など、カテゴリー分けして表示されます。

2 いずれかのカテゴリーをタップ

3 表示したい静止画／動画をタップ
- ▦⊂⊃▣をタップすると、撮影日ごとの表示に切り替わります。

おしらせ

- 保存されている写真の枚数が多い場合、ギャラリー起動時にすべての写真を読み込むのに時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは他の端末と「共有」することはできません。
- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

ミュージックプレイヤー

ミュージックプレイヤーを利用して、microSDカードに保存した音楽を再生します。

- パソコンからmicroSDカードに音楽データを保存しておいてください。
- 再生可能な音楽データのファイル形式は以下のとおりです。
  AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+)、HE-AACv2 (enhanced AAC+) (3gp,mp4,m4a)、AMR-NB、AMR-WB（3gp)、MP3（mp3)、MIDI（mid,xmf,mxmf,imy,rtttl,rtx,ota)、Ogg Vorbis（ogg)、PCM/WAVE（wav)、WMA（wma,asf)
- 「イヤホンを利用する」→P.27

音楽を再生する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」

2 カテゴリーをタップ

- 「アーティスト」、「アルバム」、「曲」、「プレイリスト」からカテゴリーをタップします。
- [•••]をロングタッチすることで、文字を入力して検索することもできます。

3 アイテムをタップ

- カテゴリーで「曲」を選択した場合は、再生したい曲をタップして曲を再生します。
- アイテムをロングタッチして「再生」をタップすると、アイテム内の曲を全曲再生します。

■着信音に設定する

▶曲をロングタッチ▶「着信音に設定」

4 曲をタップ

①ジャケット画像
②曲リスト表示／シャッフル設定／繰り返し再生設定
- 曲リスト表示では▦をドラッグして曲の順番を入れ替えることができます。

③曲情報
④曲の先頭に戻るまたは前の曲へスキップ／一時停止／次の曲へスキップ
⑤再生位置を指定

■パーティシャッフルを利用する

▶[•••]▶「パーティシャッフル」

- すべての曲からランダムに数曲選んで再生します。
  パーティシャッフルにすると⤮が🌐に変わります。

おしらせ

- デジタル著作権管理技術（DRM）で保護されたコンテンツは「データの初期化」をすると再生できなくなります。

プレイリストを利用する

プレイリストを作成する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」

2 アーティスト名やアルバム名、曲名をロングタッチ▶「プレイリストに追加」

3 追加したいプレイリストをタップ
- アーティスト名やアルバム名は、選択した項目内にあるすべての曲がプレイリストに追加されます。
- 「現在のプレイリスト」をタップすると、現在再生中の曲の一覧に追加されます。追加した曲は再生画面の ☰ をタップして確認できます。

■プレイリストを新規作成する

▶「新規」▶プレイリスト名を入力▶「保存」
- 新しいプレイリストを作成して、曲を追加します。

プレイリストの再生順を変更する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」▶「プレイリスト」

2 プレイリストをタップ

3 ▦ をドラッグ
- ドラッグした位置に曲順が変更されます。

プレイリスト名を変更する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」▶「プレイリスト」

2 変更したいプレイリストをロングタッチ▶「名前を変更」▶プレイリスト名を入力▶「保存」

プレイリストから曲を削除する

1 アプリケーション一覧画面で「音楽」▶「プレイリスト」

2 プレイリストをタップ

3 削除したい曲をロングタッチ▶「プレイリストから削除」

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

■ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

●データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

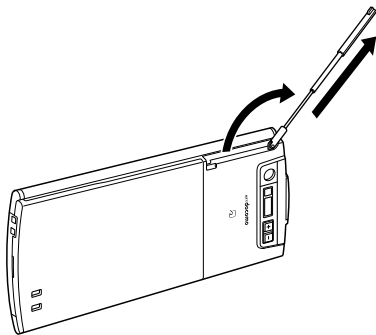
■放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

・放送波が送信される電波塔から離れている場所
・山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
・トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするために、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また､アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■ワンセグアンテナについて

●ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

おしらせ

●ワンセグアンテナを収納するときは、先端を持って無理に収納しないでください。破損の原因となります。止まるところまでまっすぐ押し込み、ワンセグアンテナを倒して収納してください。

ワンセグを見る

1 アプリケーション一覧画面で「テレビ」

・テレビメニュー画面が表示されます。
・はじめてワンセグを起動したときは、チャンネルを設定する必要があります。→P.77

2「視聴」

■音量を調整する

▶ボリュームキーを押す

■字幕や音声の設定を行う

▶[■■■]▶「字幕／音声」

チャンネル設定をする

1 テレビメニュー画面で「視聴」

2 ［•••］▶「エリア切替」

3 エリアをタップ
- 登録済みのエリアを選択すると、選択したエリアに切り替え、ワンセグを視聴します。

4 「OK」▶エリアの地方、都道府県、地域をタップ
- チャンネルをスキャンし、チャンネル情報を登録します。

5 「OK」

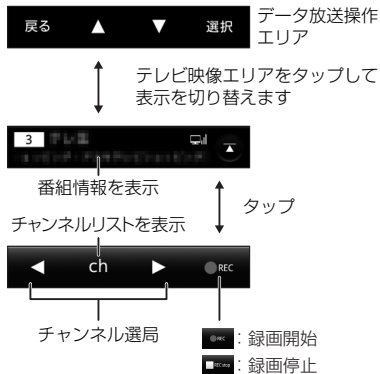
ワンセグ視聴画面の見かた

縦画面表示にするとデータ放送が表示されます。

①テレビ映像エリア
- 左右にフリックしてチャンネルを選局
- ロングタッチしてチャンネルリストを表示

②データ放送エリア

③操作エリア

［REC］：録画開始
［REC stop］：録画停止

番組表を利用する

地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できます。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴・録画予約も可能です。

1 テレビメニュー画面で「番組表」

■ワンセグ視聴中の場合

ワンセグ視聴中に［•••］▶「番組表」
- はじめて番組表を起動したときは、地域設定画面が表示されます。

視聴する番組を選ぶ

1 番組表で視聴したい番組をタップ▶「ワンセグ起動」

視聴や録画を予約する

ワンセグの視聴や録画を予約します。設定した日時にアラームで番組や録画の開始をお知らせします。

1 番組表で番組をタップ▶「ワンセグ視聴予約」／「ワンセグ録画予約」

2 各項目を確認▶「保存」▶「はい」

録画した番組を再生する

1 テレビメニュー画面で「録画番組の再生」

2 再生したい番組をタップ

・番組が再生されます。
・ワンセグ視聴画面同様、操作エリアから番組の操作を行います。→P.77

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示され、テレビリンクを登録しておき、あとで関連サイトに接続できます。

●テレビリンクを登録するには、データ放送エリアでテレビリンク可能な項目をタップします。

1 テレビメニュー画面で「テレビリンク」

2 リンク先をタップ▶「はい」

■テレビリンクを削除する

▶削除したいテレビリンクをロングタッチ▶「削除」▶「1件削除」／「全件削除」▶「はい」

ワンセグの設定を行う

1 テレビメニュー画面で「設定」

2 以下の項目から選択

データ放送設定

通信確認……通信を行う際に確認メッセージ表示の有無を設定します。

位置情報の利用……位置情報利用の有無を設定します。

端末情報の利用……端末情報利用の有無を設定します。

放送局メモリ削除……放送局メモリを削除します。

オフタイマー……ワンセグを自動的に終了するまでの時間を設定します。

製品情報……製品情報を表示します。

ファイル管理

赤外線通信

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、連絡先やマイプロフィールの送受信が行えます。

Bluetooth

Bluetooth通信機能を利用して、他のBluetooth機器とワイヤレスでデータの送受信が行えます。

パソコン接続

FOMA端末とパソコンをPC接続用microUSBケーブル（試供品）で接続して、microSDカード内のデータを操作したり、PC Linkでパソコンから FOMA端末を操作したりすることができます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック N28
・リアカバー N54
・卓上ホルダ N34
・FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01
・FOMA ACアダプタ 01※／02※
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※
・キャリングケース 02
・FOMA DCアダプタ 01※／02※
・ワイヤレスイヤホンセット 02
・ワイヤレスイヤホンセット P01
・Bluetoothヘッドセット F01
・Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
・FOMA 補助充電アダプタ 02※
・FOMA乾電池アダプタ 01※
・骨伝導レシーバマイク 02

※FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。→P.83
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」、またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■電源

FOMA端末の電源が入らない	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.30
●電池切れになっていませんか。	P.32

■充電

充電ができない（お知らせLEDが点灯しない／点滅する）	
●電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.30
●アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットにしっかりと差し込まれていますか。	P.33

●FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ（別売）を使用する場合、FOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とACアダプタ、およびFOMA 充電microUSB変換アダプタ N01とFOMA端末が正しく接続されていますか。 また、付属の卓上ホルダを使用する場合、ACアダプタが付属の卓上ホルダにしっかりと接続されていますか。	P.32
●付属の卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。	-
●PC接続用microUSBケーブル（試供品）を使用する場合、パソコンの電源が入っていますか。	-
●充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して、充電を停止する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	-

■端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
●操作中や充電中、また、充電しながらカメラ機能やワンセグ視聴／録画などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	-
●カメラ機能やワンセグ視聴／録画を長時間行うと、FOMA端末が温かくなり、カメラ／ワンセグが終了することがあります。しばらくたってから、カメラ／ワンセグをご利用ください。	-

電池の使用時間が短い	
●圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	-
●電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.31
●電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	P.31
電源断・再起動が起きる	
●電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	-
タップしたり、キーを押しても動作しない	
●FOMA端末の電源が切れていませんか。	P.34
●正しくタッチパネルに触れていますか。	P.35
●画面ロックされていませんか。	P.34
●スリープモードになっていませんか。電源キーを押してスリープモードを解除してください。	P.34
タップしても正しく操作できない	
●手袋をしたままで操作していませんか。	P.35
●爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。	P.35
●ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。	P.35
ドコモUIMカードが認識されない	
●ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.28

時計がずれる	
●長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻が「自動」に設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.62

■通話

の表示が出て電話がかけられない	
●サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。	P.42
通話ができない（場所を移動してもの表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	
●電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。	-
●電波の性質により、を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	-
●電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。	-

エラーメッセージ

SIMカードはPUKでロックされています。 ユーザーガイドを参照するか、お客様サポートにお問い合わせください。	
●PIN1コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。「緊急通報」をタップして、「**05*[PUKコード]*[新しいPIN1コード]*[新しいPIN1コード]#」と入力してください。	P.56
●PINロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりドコモUIMカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。	P.56

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。

  ※本FOMA端末は、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良(液晶・コネクタなどの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■以下の場合は、修理できないことがあります

・故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子(イヤホンマイク端子)・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)

※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  ・火災・けが・故障の原因となります。
  ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・液晶部やキー部にシールなどを貼る
    ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：カメラ下部、スピーカー、受話口部、送話口部付近
- 本FOMA端末は防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。

- ソフトウェアを更新するには「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。
  - 自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
  - 即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  - 予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中・圏外にいるとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - Wi-Fiネットワークとの接続中
  - メジャーアップデート中
  - 日付・時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき

- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません（ダウンロード中は電話の着信が可能です）。
- ソフトウェア更新の際にはサーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときには、更新ができない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、充電が不足しているため更新できない旨のメッセージが表示されます。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に更新の必要がない旨のメッセージが表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、書き換えが失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

おしらせ

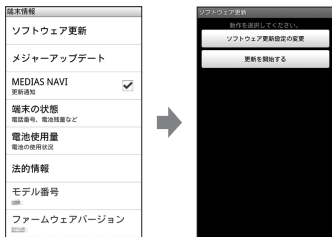
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ソフトウェア更新を自動で行う（自動更新）

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。

- お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う」に設定されています。
- 書き換え可能な状態になるとステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えするかを選択できます。
- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消去されます。
- 書き換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
- 自動更新設定が「自動で更新を行わない」になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

自動更新の設定

❶ ホーム画面で[▪▪▪]▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「ソフトウェア更新設定の変更」

❷ ソフトウェア更新通知があったときの動作をタップ

- 自動でソフトウェア更新をするとき：「自動で更新を行う。」
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：「自動で更新を行わない。」

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに[⬇](ソフトウェア更新有)が表示されます。

❶ 通知パネルを開いて「[⬇]」

❷ 書き換え方法を選択

- ソフトウェア更新が必要なときは、書き換え時刻が表示されます。

■指定時刻に書き換えを開始する

▶「OK」

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。

・書き換えが完了するとステータスバーにが表示されます。は、一度確認すると消去されます。

■書き換え開始時刻を変更する

・アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

▶「時刻を予約してソフトウェアを更新する」の操作1へ→P.88

■すぐに書き換えを開始する

▶「すぐにソフトウェアを更新する」の操作1へ→P.87

おしらせ

●自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

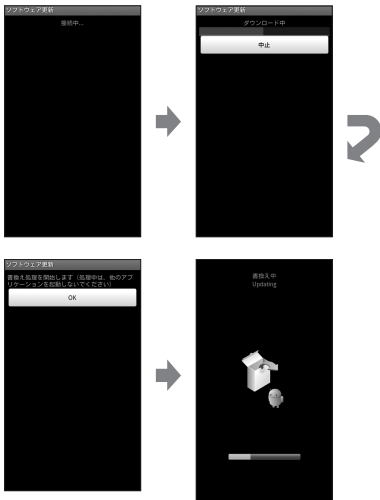
ソフトウェア更新を起動する（即時更新）

1 ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「更新を開始する」▶「はい」

・ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
・ダウンロードの途中で中止すると、それまでにダウンロードしたデータは削除されます。

・ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。

2 「OK」

- 再起動後更新を開始します。
- 更新中はすべての操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に2回自動的に再起動します。

3 ホーム画面が表示

- ステータスバーに✔が表示されます。は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 「今すぐ開始」

2 「書換え処理を開始します」が表示▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示が約3秒経過すると、自動的に書き換えを開始します。
- 書き換え中は、すべての操作が無効となります。書き換えを中止することもできません。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべての操作が無効となります。更新を中止することもできません。

・更新が終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

4 通知パネルを開いて「☑」

・ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。
・ステータスバーに更新が完了したことを表す☑（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。☑（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消去されます。

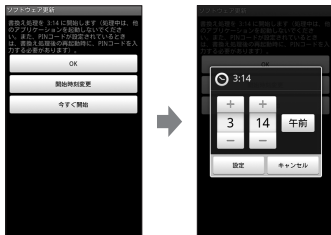
ソフトウェア更新終了後の表示について

ステータスバーに☑が表示されます。通知パネルを開いてタップすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

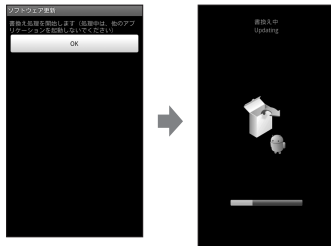
アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 「開始時刻変更」

・書き換え開始時刻設定画面が表示されます。
・時刻はFOMA端末の時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力▶「設定」

・時刻を設定します。
・「+」／「−」をタップして更新時刻を変更し、「設定」をタップします。

付録／索引

予約した時刻になると

❶「書換え処理を開始します」が表示▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示後約3秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新を予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻にメジャーアップデート中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときFOMA端末の電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

メジャーアップデート

FOMA端末のOSのバージョンアップ（メジャーアップデート）を行います。

- メジャーアップデートの注意事項については、「ソフトウェア更新」の「ご利用にあたって」を参照してください。→P.83
- 最新のソフトウェアの状況については、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）http://www.medias.net/を参照してください。

❶ホーム画面で[▪▪▪]▶「本体設定」▶「端末情報」▶「メジャーアップデート」

❷以下の項目から選択

更新を開始する……メジャーアップデートを起動します。

ネットワークを利用して更新……ネットワークを利用してOSのバージョンアップを行います。

SDカードを利用して更新……microSDカードを利用してOSのバージョンアップを行います。

更新の確認……本FOMA端末がアップデート可能か確認を行います。

更新を定期的に確認する……自動で定期的に更新情報をチェックし、バージョンアップ可能か確認を行います。

■「ネットワークを利用して更新」について

- メジャーアップデートはmicroSDカードを経由して行うため、あらかじめmicroSDカードを挿入しておく必要があります。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - ・国際ローミング中
  - ・機内モード中
  - ・USB接続時のマウント中
  - ・メジャーアップデートに必要な電池残量がないとき
  - ・メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
- 3Gネットワークを利用してメジャーアップデートを行う場合は、パケット通信料がかかります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 更新するソフトウェアバージョンにより、Wi-Fiネットワークへの接続が必要です。
- Wi-Fiネットワークを利用してソフトウェア更新をする際は、あらかじめWi-Fi設定を行いWi-Fiネットワークに接続されていることを確認してください。→P.38

■「SDカードを利用して更新」について

- FOMA端末とパソコンを接続して、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）から、パソコンを使ってmicroSDカードに更新するソフトウェアを取り込んで、メジャーアップデートを行います。
  詳しくは、メーカーサイト（MEDIAS NAVI）を参照してください。
- 次の場合はメジャーアップデートできません。
  - ・USB接続時のマウント中
  - ・メジャーアップデートに必要な電池残量がないとき
  - ・メジャーアップデートに必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき

携帯電話機の比吸収率（SAR）などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種N-06Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.353W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。※2 NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページを参照してください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページを参照してください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
NECカシオモバイルコミュニケーションズのホームページ
http://www.n-keitai.com/lineup/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年5月現在）

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.74 W/kg, and when worn on the body, is 0.48 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at https://gullfoss2.fcc.gov/oetcf/eas/reports/GenericSearch.cfm after search on FCC ID A98-PUL1905.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

---

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

FCC Regulations

This mobile phone complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Declaration of Conformity

The product "N-06C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.n-keitai.com/lineup/index.html (Japanese only).

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.568 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては、経済産業省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「iD」「公共モード」「spモード」「メロディコール」「声の宅配便」「ドコモ地図ナビ」および「トルカ」ロゴ､「おサイフケータイ」ロゴ、「iD」ロゴ、「ｉC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Powered by emblend™ Copyright 2010-2011 Aplix Corporation. All Rights Reserved. emblendおよびemblendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- 「PictMagic／ピクトマジック」「クイックショット」「MEDIAS／メディアス」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「PC Link／ピーシーリンク」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Exchange ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。

- PhotoSolid®、MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 「Google」「Android」「Androidマーケット」「Gmail」「Google Calendar」「Google Maps」「Google Talk」「Google Latitude」「YouTube」「Picasa」および「Google」ロゴ､「Android」ロゴ､「Androidマーケット」ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

- らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

- 「Facebook」はFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Evernote」はEvernote Corporationの商標または登録商標です。
- 「BeeTV」はエイベックス・エンタテインメント株式会社の商標または登録商標です。
- 「エブリスタ」は株式会社エブリスタの登録商標です。
- ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。

- 「andronavi／アンドロナビ」、「ついっぷる」はNECビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。
- 「モシモカメラ」はアイティア株式会社の登録商標です。
- 「ソラダスお天気予報」は、株式会社エムティーアイの登録商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ＩＣカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

  Powered by ADOBE® FLASH®
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- ©MTI Ltd.

Windowsの表記について

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft®Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

・本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。
①本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
②本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
③本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
④本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

・本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
GPL、LGPLは、ホーム画面で[•••]▶「本体設定」▶「端末情報」▶「法的情報」▶「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。
http://www.n-keitai.com/guide/download/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

索引

あ

い

う

え

お

か

き

て

と

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

り

れ

ろ

わ

英字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。
■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。
■ 機内モード：電波を発する機能を有効／無効にします。
■ マナーモード：着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。
■ 公共モード（電源OFF）：電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。
■ バイブレータ：電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24 時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600*** （無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-06Cから、ご利用の場合は +81-3-6832-6600 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24 時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414*** （無料）

* 一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※N-06Cから、ご利用の場合は +81-3-6718-1414 でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

* 滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA 端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

'11.6（1版）
MDT-000161-JAA0 S

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。
Li-ion00

再生紙を使用しています